

2019年6月15日 ~ 2019年6月21日

2019年6月25日

先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドル・対円ともに上昇しました。トルコの2年国債金利は低下しました。

先週はエルドアン大統領が、政策金利は高水準と批判したことを受け、トルコ・リラが下落する局面がありました。しかし、米国の利下げ観測の高まりが市場心理の改善に寄与したことから、トルコ・リラは対米ドル・対円ともに上昇しました。トルコ中央銀行が現在の政策金利より低い金利での流動性供給策を新たに導入したことにより、国債金利は低下しました。

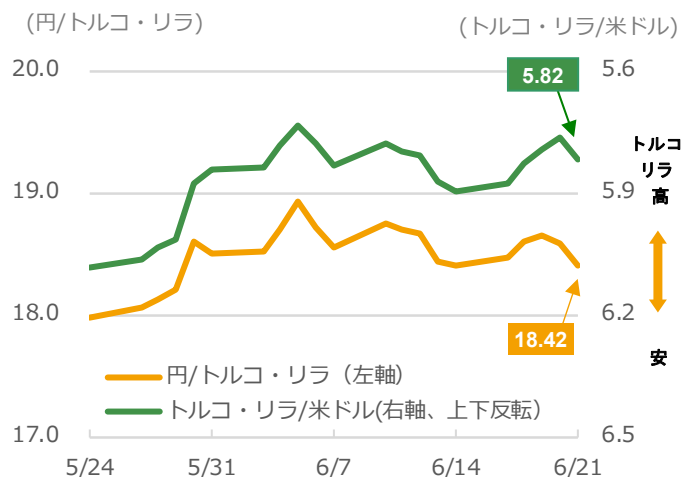
6月23日（現地）に行われたイスタンブール市長選挙の再選挙では、野党CHP（共和人民党）の候補が再び勝利し、3月末の選挙より得票差も拡大しました。

今週の見通し

今週はロシアからのミサイル防衛システムの購入について、6月26日～27日（ブリュッセル）のNATO（北大西洋条約機構）の会合で米国とトルコの国防長官が、今月末のG20（主要20カ国・地域首脳会合）でトランプ米大統領とエルドアン大統領が協議する予定です。イスタンブール市長選挙で再び与党が敗れたことにより、求心力を強化させたいエルドアン大統領が強硬な態度をとる可能性には注意を要します。今週も引き続き、政治的ヘッドラインに注意する必要がありますと考えています。

トルコ・リラ 為替推移

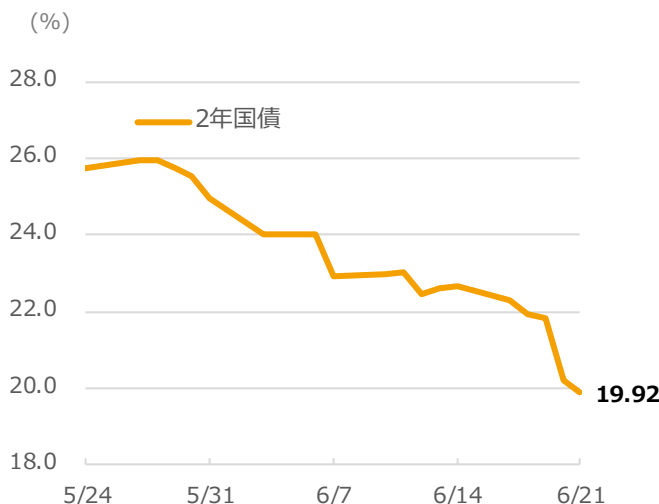
(2019年5月24日～2019年6月21日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

トルコ 金利推移

(2019年5月24日～2019年6月21日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。